

標準委員会 リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会
第 7 回津波 PRA 作業会 議事録

1. 日 時 2016 年 5 月 16 日 (月) 10:00~12:30

2. 場 所 電力中央研究所 大手町ビル 第 4 会議室

3. 出席者 (敬称略)

【出席委員：15 名】山口主査 (東大), 蛭澤副主査 (電中研), 桐本幹事 (電中研), 阿部委員 (TEPSYS), 安中委員 (東電設計), 倉本委員 (NEL), 松本 (MHI, 黒岩委員(MHI NS エンジ)代理), 橋本(原安進, 鈴木委員代理), 関沢委員 (中部電), 成宮委員 (関電), 西野委員 (JAEA), 藤井委員 (東芝), 松山委員 (電中研), 美原委員 (鹿島建設), 内藤 (日立 GE, 三宅委員代理)

【欠席委員：3 名】秋山委員 (CTC), 高田委員 (東大), 平野委員 (電中研),

【出席常時参加者：6 名】井ノ口 (中部電), 高橋 (鹿島建設), 根岸 (GIS), 松中 (東電), 渡邊 (四電), 増谷 (TEPSYS)

【欠席常時参加者：5 名】竹内 (東電), 林 (関電), 菅原 (関電), 吉川 (NEL), 三橋 (MHI NS エンジ)

4. 配付資料

RK6WG2 7-1-1 第 6 回津波 PRA 作業会議事録 (案)

RK6WG2 7-1-2 人事について

RK6WG2 7-1-3 津波 PRA 作業会委員名簿 2016/05/16 版

RK6WG2 7-2-1 津波 PRA 標準改訂 集約版 2016/05/16 版

RK6WG2 7-2-2 津波 PRA リスク専門部会コメント対応表 2016/05/16 版

RK6WG2 7-2-3 津波 PRA 標準改定 標準委員会最終報告説明資料

RK6WG2 7-2-4 津波 PRA 標準改訂 箇条 7 関連

RK6WG2 7-3 津波 PRA 分科会主要スケジュール (案)

5. 議事内容

(1) 定足数の確認

議事に先立ち, 15 名が出席しており, 作業会成立に必要な定足数 (2/3 以上) を満たしている旨が報告された。

(2) 資料確認

桐本幹事から配布資料の確認が行われた。

(3) 議事録確認 (RK6WG2 7-1)

桐本幹事から, 資料 RK6WG2 7-1-1 により, 前回の津波 PRA 作業会の議事録の内容に

ついて説明があった。阿部委員代理で増谷氏が出席していたため、名簿修正と出席委員を15名に修正した上で議事録とすることが承認された。

(4) 人事案件

桐本幹事から、資料 RK6WG2 7-1-2, 7-2-3 により委員1名、常時参加者1名の所属の変更の確認があった。

(5) 津波 PRA 標準改定案 リスク専門部会コメント対応検討 (RK6WG2 7-2-1~7-2-4)

・ コメント対応表による修正項目

資料 RK6WG2 7-2-2 津波 PRA リスク専門部会コメント対応表 に基づき、適宜資料 RK6WG2 7-2-1、及び RK6WG2 7-2-4 を参照し、各コメントの対応について確認した。

- JIS では図番号のあとに-[ハイフン]が入ることになっているが、実際は見難く誤植とも取られかねないので、図番号の後は半角スペースで全体を統一する。
- SSC に関わる記述は、地震 PRA と整合して今後合本が可能なように整合性を取る。具体的には、「建物・構築物、機器・配管系」とし、「建物・構築物」、「機器・配管系」、あるいは「建物」、「構築物」「機器」、「配管系」という扱いも可能にする。
- 用語の定義に SSC を追記し、翻訳としては「構築物、系統及び機器」だが、本標準では「建物・構築物、機器・配管系」として用いると定義。以後、用語は「SSC」。
→ 注：指摘の用語箇所は複数箇所あるが **1.適用範囲**にも記載あり。
- 津波(防護等)特有の場合は「設備」、「施設」を用いることを可とする。
- 従来からの呼び名の経緯もあるので「建屋・機器脆弱性評価」はそのままとする。
- 7.1 はフロー図に合わせて f)と g)の順を入れ替える。
- 7.3.8 は「発生確率については」～「課題が残されている」までを解説 1-1 に移動し、解説を参照する。参考例は適用事例集に収録する予定のため、文献を参照する。
- 7.4.4 は文章をまとめて簡略化する。またロジックツリーの例は適用事例集ではないのでここでは追加記載しない。
- 8.2.3a)1)はコメントで指摘のモードは1行目に含まれているので、元の記載に戻し、その代わりに附属書 L.1 への参照を追記する。図 8.4.1-1 に図の解説を追加する。
- 9.5.2c)は、「発生確率の評価をする際には」と修正を検討。9.5.2c)1)は留意するための文章に修正する。
- 6.4 はコメントの修正指摘に対し、資料 7-2-1 ではまだ未修正

今回の議論による各執筆担当における修正対応結果は外的事象 PRA 分科会で報告するため、5/23(1週間後)までに、桐本幹事及び倉本委員に提出し、最終報告用の標準案資料として集約する。

- ・ 標準委員会最終報告説明資料について

資料 RK6WG2 7-2-3 津波 PRA 標準 標準委員会最終報告説明資料が幹事より紹介された。短時間での説明のため、各箇条について改定にあたってのポイントが述べられている。このため各箇条の担当者において修正/追記などがある場合は、幹事に修正案を集約することとなった。

(6) 津波 PRA 分科会主要スケジュールについて (RK6WG2 7-3)

桐本幹事から、資料 RK6WG2 7-3 により津波 PRA 作業会主要スケジュールについて紹介があった。

- ・ 5/27 の外的事象 PRA 分科会、6/6 のリスク専門部会にこれらの対応内容を報告する。その上で 6/15 の標準委員会に最終報告し、標準委員会のコメントを受けた上で、誤記チェックの対応を行うこととした。
- ・ 次回作業会は標準委員会のコメント対応内容の時期を目途に別途調整する。

以 上